



『北欧デザインの今日——生活の中の形』展で来県された
アイズランドのビッグジス・フィンボガデル大統領

とやま



県広報

1987/10 NO.225

エッセイ 加藤富子
国際人としての条件——表紙 2

特集
富山県民総合計画(前期4年)——P.4
PIN UP TOYAMA
'87ズームアップとやま——P.12

TRIP 県政
富山県食品研究所——P.16
ふるさとみてある記
小矢部市——P.18
シリーズ：とやまギネススポット
銅器——P.24





中学生と

「おかしな話」



まず、福岡中学校で、三年生二百名とのつどい。「健康の秘けつは?」「リーダーの条件は?」など次々に飛び出す質問に、知事もこやかに応答。ソメイヨシノの記念植樹をして学校をあとにしました。

この後、ヤヨイ化学、シルバー人材センターを視察して、語るつどい会場の農村環境改善センターへ。約百六十名の町民が参加し、農業問題を中心に老人福祉、道路改善などたくさん質問が出ました。

また、稲の刈取状況も視察し、田んぼの中で中核農家の方々と懇談。農家の現状を聞き「富山県の農業は、まだまだ発展しなければならぬ」と力説する知事でした。

知事のまちなまり・語らひぶっ

九月十日、福岡町で知事のまちなまりが行われました。

最近、「国際化」という言葉が流行しているが、この言葉を聞くと、私はよく次のようなトイレ問答を思い出すのである。

かつて、私が勤務していた自治大学校では、現在も引き続いて、毎年1回、東南アジア、中近東、中南米、アフリカなどの発展途上国から招いた地方行政担当者を対象とした国際研修を実施している。今から約15年程前のことであるが、新任の職員が、実例会の席上で、「しゃがみ式の日本型トイレは、外国人にはなじまないはずである」と、自治大学校のトイレを西洋型の座り式トイレに改造することを提案した。それに対して、私は「どのような形のトイレを使用するかは、固有の伝統文化の問題であり、日本本来のトイレ形式を外国人に恥じる必要は毛頭ない。その上、東南アジアや中近東においては、しゃがみ式のトイレが通常である。第一、西洋式トイレは、家庭内で使用するぶんにはよいであろうが、多数の人のびとが次々と使用する公衆用としては不潔であって不相当である」と反対意見を述べた。しかし、提案者以外にも、西洋式トイレは、「近代化の象徴」というような考えの人がいて、結局、一部が西洋式に改造され、その扉には、英語で「ウエスタン・スタイル」と表示されて現在にいたっている。

ところが最近、某新聞紙上で、日本の都市について複数の欧米人が加わった座談会の紹介がのっていたが、その中で、彼らは、日本の公衆便所をほめ、「日本式トイレは、多勢の人が座った便器に腰を下さなくてすみ、清潔である」最近、エイズの流行などからアメリカでは座式の公衆便所をいやがる人が増えている」などと語っていたのである。実は、日本で生活した外国人で、日本式の生活様式を好み、帰国しても、家に入る時にはスリッパにはきかえるとか、トップリ肩までつかる日本式風呂を自宅につくって楽しんでいる人がかなりいる。つまり、国際化とは、何も欧米のやり方を真似たり、同調したりすることではない。むしろ、日本人は日本人としての個性を保ち、自分達のよき伝統を大切にすることが国際人としての第一要件である。外くの外国人は、日本の文化や歴史に興味と関心を持ち、その中から、何か新しいものを採取したいと考えている。お互いの異質な部分を排除することなく認めあい、よい点を学び合うという態度こそ国際化社会に生きる道であると思われる。

国際人としての要件

加藤 富子

松阪大学教授(行政学)





旅券センター



国際交流ラウンジ



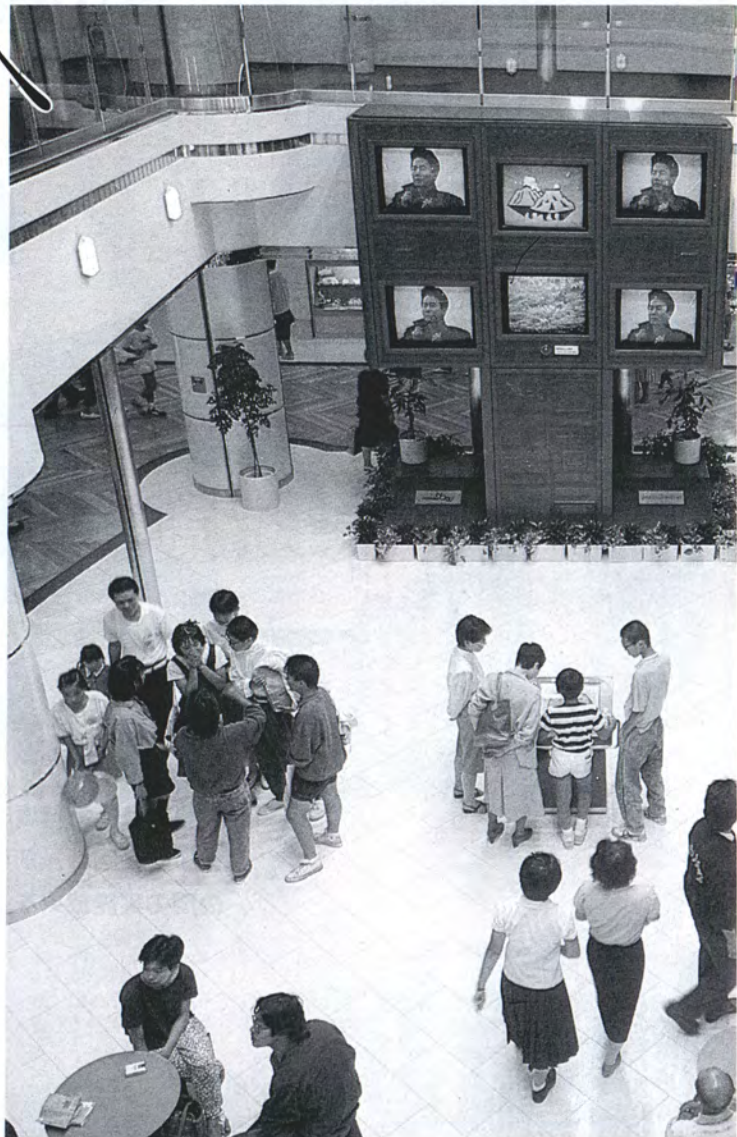
国際交流資料展示室



ビデオブース



パソコン情報



富山ターミナルビル・マリエとやま六・七階に富山県国際文化センターが完成し、九月十二日、ビルと同時にオープンしました。

富山県国際文化センターオープン

国際文化センターは、県民の国際交流・文化活動の拠点です。国際交流ラウンジや青年サロンなどの交流スペース、リモコンでカメラを操作できる絵の出る時計台や世界各国の映像が見られるビデオブース、国際交流資料展示室など情報提供スペースなどがあります。また、舞台と客席が様々な形に変化する円形小ホール「オルビス」は、新しい文化創造の場です。

オープン当日、マリエとやまには約六万人が買い物などに詰め掛け、国際文化センターでも多くの人足をとめ、「新しい富山」を体験していました。



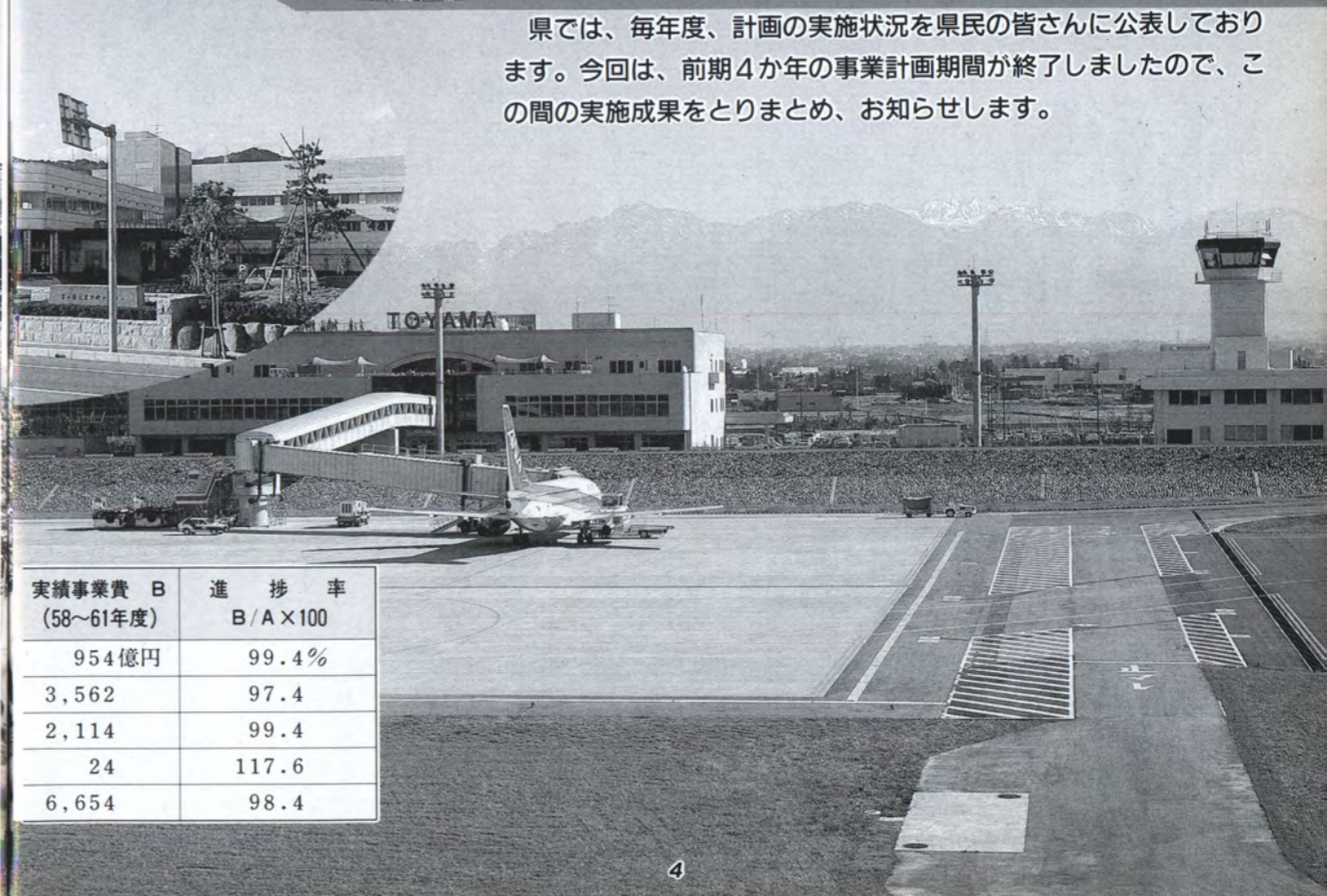
富山県民総合計画 4年

県民の英知を集めて生まれた県づくりプラン「富山県民総合計画」が昭和58年に策定されてから、4年が経過しました。

この間、皆さんの積極的な参加と協力をいただきながら、「活力と温かい心に満ちた美しいふるさと」の実現をめざして、総力をあけて県づくりに取り組んできました。

県では、毎年度、計画の実施状況を県民の皆さんに公表しております。今回は、前期4か年の事業計画期間が終了しましたので、この間の実施成果をとりまとめ、お知らせします。

富山県・遼寧省友好県省締結調印式



計画は、ほぼ順調に達成

富山県民総合計画の前期事業計画期間である昭和五八年度から六一年度までの計画事業については、皆さんの参加と協力により、計画に盛り込まれたさまざまな施策、事業はほぼ順調に達成することができました。

計画の達成率は、前期四か年の計画事業費の合計額六千七百六十四億円に対し、実績事業費の合計額が六千六百五十四億円、九八・四%となっています。

計画額には若干及ばなかったものの、国の公共事業の抑制、現下の厳しい財政事情を勘案すれば、おおむね順調に推移したといえます。

三大政策別にみると、魅力ある郷土づくりについては、公共事業抑制に関連する計画事業費が約八割を占める部門であることから、達成率が九七・四%にとどまったものの、「明日を拓く人づくり」と「活力ある産業づくり」が、ともに九八・四%とほぼ計画どおりに実施されました。

前期事業計画期間 における 主な動き

二十一世紀を目指す県づくりの基礎となる諸事業やプランづくりが積極的に推進され、数多くの事業が計画にそって実

施されました。

三大政策別の事業実績の概要は次のとおりです。

明日を拓く 人づくり

日本一の健康県を目指した県民ヘルスプラン、長期的な視野に立った総合的な生涯スポーツプラン、二十一世紀をめざすことやま女性プランなど、県民生活の向上のためのプランづくりを進めるとともに、これらの基本方向に沿った各種施策の展開を図りました。

また、水橋・呉羽・福岡・大門の各高校を新設したほか、総合体育センター、県民公園太閤山ランド、高志リハビリテーション病院、高岡文化ホールなど各種施設を建設しました。

魅力ある

郷土づくり

雪に強い県づくりを進めるための総合雪対策条例の制定、日本一の花と緑の県を目指すグリーンプランの策定など、住みよい県土づくりの基本となるプランづくりを進め、その実現のための各種事業を積極的に推進しました。

また、河川改修など県土の保全を図る事業を着実に進めるとともに、道路網の



整備、ジェット化に伴う富山空港の整備及び特定重要港湾となった伏木富山港の整備など、総合交通体系の整備に努めました。海外諸国との友好親善については、中国遼寧省及びビラジルサンパウロ州と友好県省(州)締結を行い、各種交流事業の推進を図ったほか、国際交流の拠点として(財)とやま国際センターが発足しました。

活力ある

産業づくり

技術立県を目指し、工業技術センターをはじめ、食品研究所、農業技術センター、果樹試験場、薬事研究所等の試験研究機関を建設したほか、産業展示館がオープンしました。

政策の柱別の計画と実績(事業費)

計画区分	計画事業費 A (58~61年度)
明日を拓く人づくり	960億円
魅力ある郷土づくり	3,657
活力ある産業づくり	2,127
その他	20
合計	6,764

実績事業費 B (58~61年度)	進捗率 B/A×100
954億円	99.4%
3,562	97.4
2,114	99.4
24	117.6
6,654	98.4

事業実施面
における
昭和58～61年度の
主な動き



二十一世紀を目指し、全国に誇りうる素晴らしい県づくりに努めていきます。

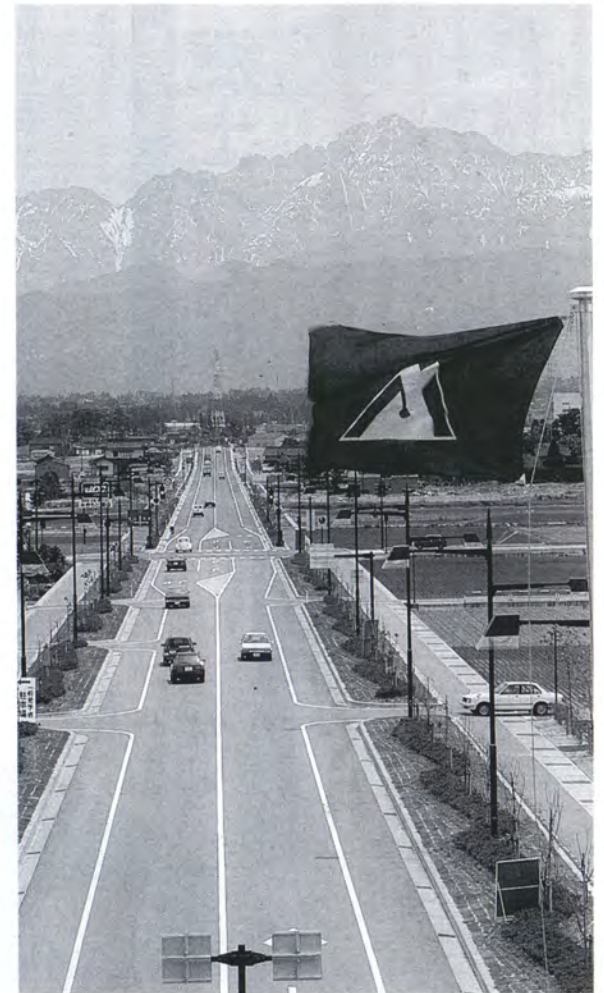
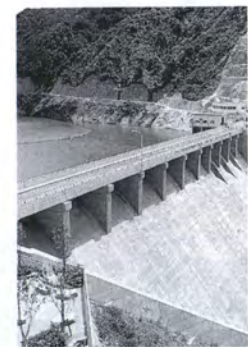
このほかにも、県民の皆さんが独自の力で実施しておられるもの、あるいは行政との積極的な協力のもとに推進されたもの、国や市町村によって推進されたものなど数多くの事業が展開されています。富山県民総合計画は、本年度から後期事業計画期間に入り、計画の達成に向けて新たな第一歩を踏み出しました。これからも、県民の皆さんとともに、

情報公開条例の実施体制を整えるため、県庁東別館に情報公開総合窓口を設置するとともに、公文書の保存、閲覧のための公文書センターを建設するなど、開かれた県政の実現を図りました。

その他

農林水産業の振興については、花総合センターや公社畜産基地の建設を進める一方、木材利用普及センターや公社栽培漁業センターなどの整備を図りました。創造性豊かな工業の育成については、富山テクノポリス計画の承認を受け、その運営拠点となる富山技術交流センターが開設されたほか、富山八尾中核工業団地の企業立地が進みました。また、パート雇用センター、パートバンクの開設により職業紹介体制の充実に進められたほか、勤労者のための福祉施設の整備の推進を図りました。

区分	検討のために新たに組織が設けられたもの	調査・検討の結果、報告・提言のあったもの	完成又は開館等したもの	着工したもの
明日を拓く人づくり	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツプラン策定委員会(58.4) 県立中央病院基本構想検討委員会(59.10) 県民健康づくり推進協議会(59.11) 県民総合博物館基本構想策定委員会(60.10) 県うるおいのある環境づくり会議(61.4) 富山中央部丘陵レクリエーション地域開発整備促進協議会(61.11) 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツプランの策定(60.8) 総合運動公園基本計画策定調査報告(61.3) 県立中央病院基本構想中間報告(61.8) 新大学の基本的あり方についての提言(62.3) 21世紀をめざすとやま女性プラン(62.3) 県民ヘルスプランの策定(62.3) 	<ul style="list-style-type: none"> 県民公園太閤山ランドの開園(58.7) 総合体育センターの開館 大体育館(59.6)、温水プール棟(60.6) 高志リハビリテーション病院の開院及び高志通園センターの開園(59.10) 県情報教育センターの開所(59.10) 新設高校の開校 水橋・呉羽・福岡(60.4)、大門(61.4) 救急医療情報システムの開始(62.2) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育センター中体育館・研修棟(61.7) 高岡高校の全面改築(61.9)
魅力ある郷土づくり	<ul style="list-style-type: none"> 県土美化推進会議(58.4) 緑化推進県民会議(59.7) 総合雪対策推進会議(59.10) 県土美化推進県民会議海岸美化検討会(61.6) 富山県防災行政無線再整備構想検討委員会(61.9) 	<ul style="list-style-type: none"> 県グリーンプランの策定(60.2) 総合雪対策条例の制定(60.3) 総合雪対策基本計画の策定(60.11) 県幹線道路網構想とこれからの道路のあり方について(61.8) 水質環境管理計画(クリーンウォーター計画)の策定(62.3) 	<ul style="list-style-type: none"> 富山新空港の開港(59.3) 中国遼寧省と友好県省締結(59.5) とやま国際センターの発足(59.11) 神通川流域カドミウム汚染田第一次復元事業の完了(59.11) 熊野川ダムの竣工(60.3) 県民公園野鳥の森の開園(60.5) ブラジルサンパウロ州と友好県州締結(60.7) 上市川第2ダムの竣工(60.1) 交通安全博物館の開館(61.5) 	<ul style="list-style-type: none"> 小矢部川流域下水道・浄化センター(58.10) 神通川流域カドミウム汚染田復元第2次事業(59.6) 大長谷第4発電所(61.11)
活力ある産業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 高度情報システム研究会(58.11) (高度情報化推進会議(61.10改組)) 特産王国づくり推進協議会(59.3) (特産王国とやま推進会議(62.3改組)) 県畜産振興方策検討委員会(59.5) 冬のいきいき富山企画委員会(60.10) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域栽培漁業整備計画の策定(59.6) 農業教育問題研究会報告(60.12) 県高度情報システム研究会最終報告(61.3) 県職業訓練研究会報告(61.3) 富山県情報公開条例の制定(61.9) 職業能力開発整備構想(61.12) 	<ul style="list-style-type: none"> 高岡地域地場産業センターの開館(58.4) 富山産業展示館(テクノホール)の開館(58.9) 食品研究所の開所(58.10) 小杉流通業務団地の分譲開始(58.10) 富山技術交流センターの竣工(60.5) 農業技術センター果樹試験場の竣工(60.10) 薬事研究所の移転開所(60.10) 木材利用普及センター(ウッドリーム富山)の開館(61.5) 工業技術センターの開館(61.7) 花総合センター(エレガガーデン)の竣工(62.3) 	<ul style="list-style-type: none"> 公社畜産基地(59.4) 公社栽培漁業センター(59.11)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 県情報公開検討委員会(58.6) (県情報公開推進委員会(60.6改組)) 県情報公開懇話会(60.6) 	<ul style="list-style-type: none"> 県情報公開検討委員会報告(60.6) 県情報公開懇話会報告(61.3) 県情報公開条例の制定(61.9) 	<ul style="list-style-type: none"> 県情報公開担当窓口(県庁東別館)の竣工(61.7) 県公文書館の竣工(62.3) 	



薬は正しく使いましょう。

薬は人の病気の治療、予防に欠かせないものですが、使い方を誤れば効果が期待できないばかりか、予期せぬ副作用で健康を害することすらあります。薬は正しい知識のもとで使用し、わからないことは、医師、薬剤師等に相談しましょう。



くすり Q&A

Q1 病院や医師からもらう薬と薬局、薬店で売られている薬はどう違うのですか？

病院等からもらう薬は、診断のうえ患者一人ひとりの症状、年齢等にあわせ調剤されたもので、その人だけのものです。一方、薬局等の薬（大衆薬）は、軽いカゼやケガの手当に自分で判断して使うものです。薬を買う時は、薬剤師等に相談し、使用上の注意をよく読んで使いましょう。

Q2 医師からもらった薬を飲んでいますが別の症状が出たので市販の薬を併用してもよいでしょうか？

薬は、一緒に服用するとお互いに作用を強め合うもの、妨げ合うもの、あるいは全く別の作用が出るものがあり、併用には専門知識が必要です。自分勝手な併用はやめましょう。

Q3 漢方薬には副作用はあるのでしょうか？

漢方薬は漢方処方に従って配合され、植物、動物、鉱物等の天然の原料が使われており化学合成品に比べ副作用は少ないといわれています。しかし、作用の強い成分を含むものもありますし、他の薬と同様に使い方しだいで効果がなかったり、副作用がたりすることがあります。

Q4 錠剤を砕いて飲んでよいのですか？

錠剤には、胃では溶けないで腸で溶けるようにしたもの、体内で徐々に溶けるようにしたもの等その効果を高めるための工夫がなされていて砕いて飲むと効果が十分得られないものがあります。しかし、中には砕いてよいものもありますので薬剤師等に相談しましょう。

Q5 いわゆる健康食品は病気に効くのでしょうか？

健康食品はあくまで食品であり、栄養の補給、健康の維持の目的で食べるものですから薬効を期待すべきではありません。

「日本海をめぐる富山県友好の船」 団員募集



コーラルプリンセス号(10,000トン)



ウラジオストク 市海岸通り



万里の長城



万里の長城

英国クルーズ船で中国・韓国・ソ連

県では、二十一世紀に向けて郷土を担う中堅青年の育成や婦人指導者の養成を目的として、海外派遣事業を実施しています。青年海外派遣については、昭和四十六年の事業開始から今年まで二十二年の事業開始から今年まで百八十九名が海外へ派遣されました。この海外派遣に参加した皆さんの貴重な体験は、国際交流活動やボランティア活動などに大きな実を結んでいます。昭和六十三年度は、青年・婦人海外派遣を合同で実施し、総勢約三百七十五名の大型訪問団を中国・韓国・ソ連へ派遣します。

- 派遣期間(予定)
昭和六十三年七月六日(水)～二十一日(木)
- 募集団員数

- 青年(一般部門)
約百八十名(うち身体障害者五名程度)
- 青年(農業部門)
約十五名(うち農業高校生・短大生三名程度)
- 婦人 約八十九名
- 団員の主な資格要件
- 日本国籍を有し、昭和六十三年四月一日現在において一年以上富山県に在住し、次の年令要件を満たす方
- 青年(一般部門) 満二十歳以上三十歳未満(農業部門) 満二十歳以上三十五歳未満
- 婦人 満三十歳以上五十五歳未満
- 団員負担金 約十一万円
- 青年 昭和六十二年十月二十日(火)～十二月十日(木)
- 婦人 昭和六十二年十月二十日(火)から十二月十日(木)までの間で各市町村の定める期間

※詳しくは、県庁婦人青少年課または、各市町村担当窓口へ。

夏のとやま水撮り大作戦

水も滴るいとやま、みずみずしいとやまを生け撮ろうと、
8月1日～7日の『水の週間』に展開された“ズームアップとやま・夏のとやま水撮り大作戦”
県民こぞって参加した大作戦は、みごと大成功。
清烈な水たちがほとぼしり、玉しぶきにキラキラ光る“いい顔”が
ゾクゾクと生け撮られました。
集まった作品は、約750点。ここにその一部をご紹介します。



称名の滝 柞山三郎(婦中町)



夏 石田正博(高岡市)



我、ひょうきん族 浦上鎌治(大沢野町)



県庁前の噴水 小坂甲子男(富山市)



おらほうの海
油屋初夫(黒部市)

生ケ
撮ッ
タッ!

おいしい、水の国。

ズームアップとやま写真展 ■ 10月9日(金)～12日(月) ■ 県民会館地下展示場

さて全貌は、ズームアップとやま写真展会場で。おいしい水のファンタジーをお楽しみください。

「北欧デザインの今日」
生活の中の形」展

街のいづれも落ちつきを見せはじめ
季節は秋まっさかり。
富山の秋は、今年も美術の企画を満載して
みなさんをお待ちしています。
さて、あなたはどんな色の秋をみつめますか？

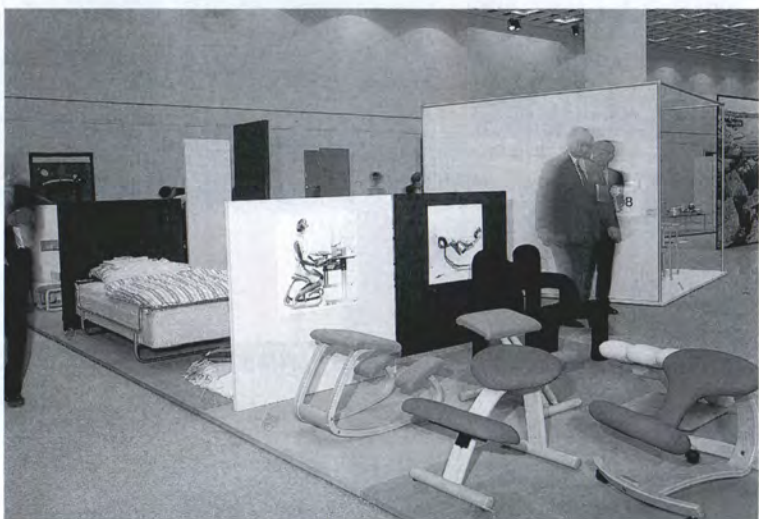
- ◆会場／十月二十三日(金)
- ◆場所／県立近代美術館
- ◆料金／一般八百円、高・大生六百元
小・中生三百五十円



杉山寧展

現代日本画壇を代表する画家杉山寧の世界を
紹介します。

- ◆会場／十月三十一日(土)～十二月十三日(日)
- ◆場所／県立近代美術館
- ◆料金／一般七百元、高・大生五百円
小・中生三百円



「京の四季」展

京都の風物、風景を描いた日本画・洋画百三
十点を展示します。

- ◆会場／十月十八日(日)
- ◆場所／県民会館美術館
- ◆料金／一般六百元、高・大生四五百円
小・中生三百円

勤労者美術展

- ◆部門／日本画・洋画・書・写真・彫刻・工芸
- ◆会場／十一月五日(木)～八日(日)
- ◆場所／県民会館展示室(地階)
- ◆料金／無料
- ※出品受付は、十月二十日(火)までです。詳しくは、県庁労政課まで。

婦人美術展

- ◆部門／日本画・洋画・彫刻・工芸・書
- ◆会場／十一月二十日(金)～二十四日(火)
- ◆場所／県民会館展示室(地階)
- ◆料金／無料
- ※作品は十一月十八日(水)に直接県民会館に搬入して下さい。詳しくは、富山県芸術文化協会(☎0764・41・8635)へ。

〇〇〇 覧覧会のごあんない 〇〇〇

あなた色の秋
みつげませんか

里親制度とは、保護者が死亡したり、
長期に入院するなど家庭に恵まれない児
童の親代りとなって養育していただく制
度です。
この制度は、児童福祉法に基づいて制
度化されたもので、人間形成の基盤が確
立される幼児期や年少期には特に望まし
いものです。



家庭に恵まれない子どもたちが
里親さんを求めています。
10/1→31

10月は
里親月間です

●里親になるためには

里親になるためには、所定の手続きを
経て知事の認定を受け、里親として登録
されることが必要です。
申し込みは、児童相談所で受け付けま
す。

●里子を預かるには

家庭での養育が困難な児童の相談を
受けた児童相談所では、適当な児童に
ついて登録里親の方に養育を依頼しま
す。里子の養育費用は、国と県から支
給されます。

※詳しくは、
富山児童相談所(☎0764・23・4000)
高岡児童相談所(☎0766・21・2124)

やさしさ、心のままに
赤い羽根共同募金にご協力を



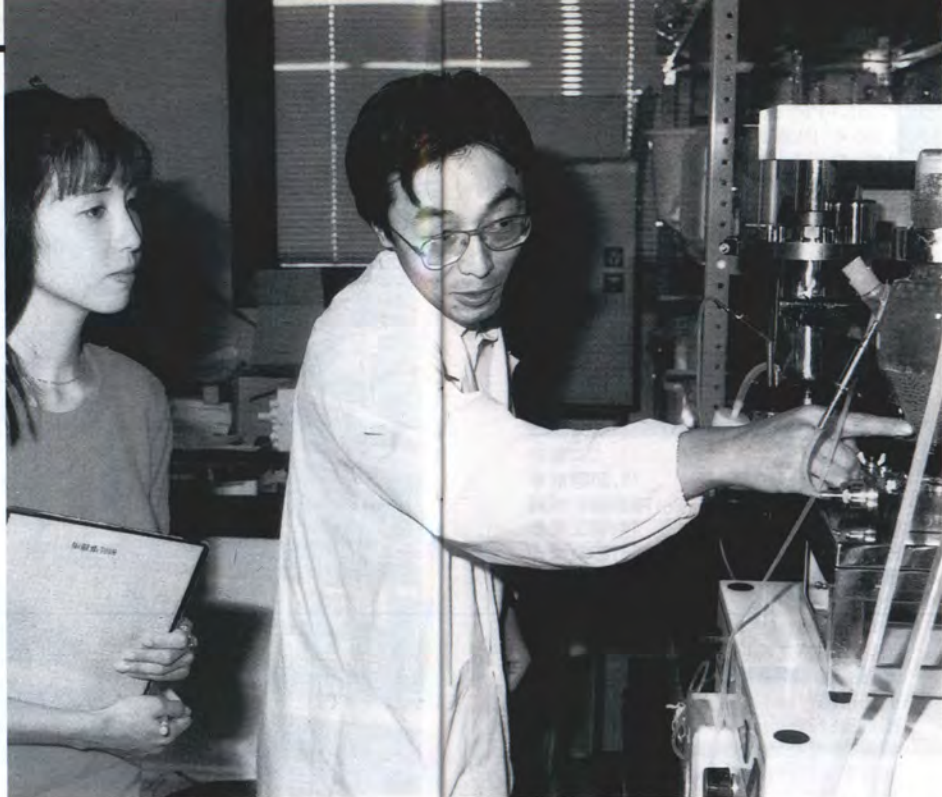
©中央共同募金会

共同募金運動が始まって今年で
ちょうど四十年、高齢化の進
展、家族形態の変化なども
あって、その果たす役割
は、今後ますます増大す
ると考えられています。
暖かい助け合いの精神
に満ちた明るい郷土を築
くためにも、皆さんのご
理解とご協力をお願いします。

十月一日から十二月三十一日までは、赤い羽根
共同募金運動期間です。
この運動は、社会福祉事業法の規定により都道
府県単位で行われているもので昨年は、全国で二
百二十三億円、富山県では、一億八千八百万円の
善意が集まり、社会福祉のために役立てられまし
た。



レポーターは、
宮崎千鶴子さんです。



食、新発見!

ちよっぴり雨の気配がする秋の午後、折り畳みの傘をこっそりとバックに忍ばせて訪れたのが、富山市吉岡にある「富山県食品研究所」です。
現代は、「一億総グルメの時代」、「飽食の時代」と言われるだけあって、食品に対する関心が高たいへん高いわけであります。どのような雑誌を見ても必ず載っている、「グルメ情報」なるものを頭に思い浮かべながら、さっそうと中に入りました。

近県では、新潟県とわが富山県だけに!

この研究所は、食品産業界の振興を目的として、五十八年の十月一日、総務課、食品化学課、食品加工課の三課制で開設されました。
このような公立の食品研究所を持つところはまだ少なく、近県では新潟県にあるくらいだそうです。
おもな業務内容は、食品の開発研究、分析検

定、技術指導・情報提供の三つです。
食品の開発研究では、試験用スモークハウスによるくん製品の試作、レトルト殺菌試験機によるレトルト食品の試作などが行われています。

食品の分析検定では、まるで中学や高校での化学実験を思わせるような部屋で、高速液体クロマトグラフによる糖類・有機酸等の分析、フアリノグラフによる食品素材の物性測定、原子吸光度計による金属類の分析などが行なわれていました。時代の最先端技術であるバイオテクノロジーも取り入れられていましたが、フラスコや試験管を見ただけで、背筋に冷たいものが走る私にも分かるように、研究員の方が親切に説明して下さいました。

毎年約700件の技術相談

また、技術指導・情報提供では、食品加工技術・食品マーケット等食品に関する研修会、講習会を開催したり、試験分析機器、実験器具等を備えた試験室を、業者の方に開放したりしています。その他、農畜水産等食品に関する専門の研究員の方が、技術相談・技術情報の提供にに応じて下さるそうです。毎年七百件前後の相談があるとのことでした。そういった面では、研究所とはいえ、関係者の人々と接する機会が大

変多いようです。

食品に関する専門書等を備えた図書室も自由に利用できるの、なんだかとてもあったかい研究所という感じですよ。

只今、サトイモの親イモ焼酎を研究中

同研究所ではいろいろな研究を行っているわけですが、私が一番おもしろいと思ったのが、これまでほとんど捨てられていたサトイモの親イモを使った焼酎です。

サトイモの親イモは、硬くて色もむらさきっぽいので商品にはならないそうです。しかし、多くのデンプンを含んでいるので、それを糖に変えて発酵し、焼酎にしようというものです。早く商品化されるといいですね。

すでに商品化されたものには、柿酢やホタルイカの塩辛、らっきょうのワイン漬けなどがあります。大変ユニークなものが多いですね。これからも、もっとおもしろいもの、びっくりさせられる食品を開発してもらいたいと思います。私個人としては、どこから見ても「手造り」というようなレトルト食品なんかいいなあーと思います。

富山県食品研究所は、私が想像していた「グルメ」なるものとは、ちよっと違いました。しかし、新しいものを生み出そうとがんばってらっしゃる研究員の方の目の輝きが、とっても印象的でした。

などと考えながら、ふと空を見上げると、すっかり秋晴れてました。

ふるさと
みる記

小矢部市

「トランプの世界」



ラッパをそろえて整列する蓄音機。ラジオ、映写機、オルガン、扇風機、果ては真空管、抵抗器、看板、メガネにカメラ……倉庫の中はレトログッズでいっぱいだ。「まだこの三倍はありますよ」。藤原幸雄さん(60)はそう言って蓄音機をかけてくれた。エジソン製。レコードは筒状。百年前にタイムスリップした気分であつたりと聞き入ってしまった。

三十年前に買ったラッパ型蓄音機をきっかけに収集を始めた藤原さん。アメリカやイギリスからも買い集め、今では即聞けるもので蓄音機は七十台、ラジオは百台ある。高校時代に機械いじりが好きだったから自分で修理復元するんですよ。これがまた楽しいんですよ。SPレコードも二万枚そろっている。

藤原さんのエライのは、発達の様子がわかるように系統的に集めていること。「奥が深くて切りがないけど、一通り見られるようになったから博物館を作ろうと思っています」。蓄音機やラジオ、三百個の電球も並べる。時代背景を説明したり、リクエストコーナーを作ったりして昔の姿で音が楽しめるようにしたいと言う。

「蓄音機、映写機、真空管、電球等娯楽の元は全部エジソンの発明です。百年前によく考えたもんです」。藤原さんはエジソンを尊敬してい

とは一時間三十九分を一日として当てはめていくのだが、同じ雪でも小雪なら半晴、あられば薄曇と換算が難しい。生活の知恵に合わせて藤崎さんの長年の研究が生きてくる。

こうしてできた天気予

報には、農家や建設業など天気と関わりのある人々から問い合わせが殺到。藤崎さんは小冊子にして配布しているが、「世の中の役に立てば」と実費しかもらわない。「医者はやめろ」と言うけれど、来年もお願いします。「と言われるとやめられなくて困つとるんです。もう二十三年になります」。



る。これだけ見せつけられれば当然だ。もちろん博物館にはエジソンコーナーも作る。子供からお年寄りまで皆が楽しめるオーディオ博物館。完成が待ちどおしい。

眺めは感激もの。

稲葉山牧場

目の前には青々と流れる小矢部川に散居村。海の向こうには宮崎。左を向けば水見。備え付けの望遠鏡(タタなのがうれしい)にへばり付き、富山県の端から端を眺めていると、夜景なんか最高ですよ。とステキな声。稲葉山牧場場長代理の高藤さんが立っていた。

「ここには約百三十頭の乳牛がいるんですよ。乳牛にしてはオッパイが小さいけれど」「仔牛を酪農家から預つて育てて妊娠させ、出産の二、三か月前に帰すんですよ。どうりで腹の大きい牛が多いわけだ。牛の学校みたいなもんだ。「生後二週間てやって来て、まだ乳離れしていないんですよ」とちょうど仔牛の世話をしてい

小矢部市の概要

面積 134.09平方キロメートル
人口 36,684人 (9月1日現在)

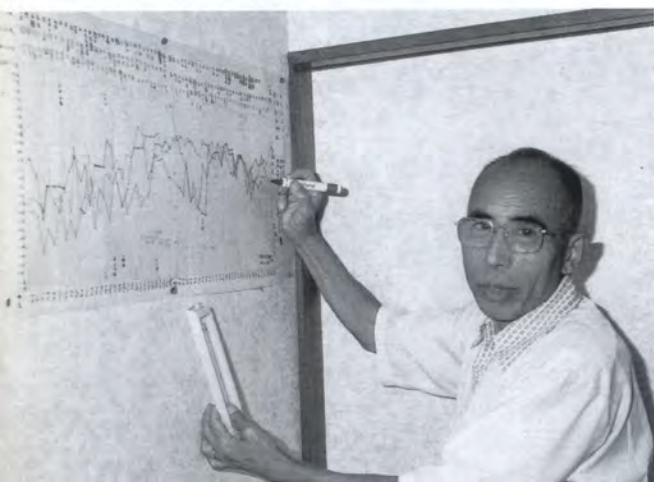
世界の有名建築が見られるメルヘンの町。その一方で源平合戦で有名な倶利伽羅古戦場があり、旧跡がたくさん見られる。サイクリングターミナルで自転車を借り、秋の一日、源平ラインや宮島峡を回ってみると面白い。



現在・過去・未来、 天気はまかせて……

「最高の中率は九十九パーセントやったね」。藤崎友治さん(70)は天気予測の名人。それも一年間分の毎日の天気がわかるのだから気象庁もかなわない。

彼の予測方法は、昔から農事に使われていた「かんだめ」。寒の間(今年は一月六日から二月五日)の天気の変化を三百六十五日に当てはめるのだが、この間、空にとらめっこ。夜だつて寝てはられない。少しまどろんでは寝巻のまま極寒の外へ出て空を仰ぐ。バラバラと雪の気配がすれば、すわ飛び起きる。本職は床屋さんだが、外が気になって客との話も上の空のことがある。「神経を使いますよ。大抵体をこわして医者へ行きます。それくらいやらんと平均的中率八十八パーセントはいきませんよ。あ



ちようど十二時。やおら立ち上がった藤崎さん。壁の紙に何か書き出した。見ると毎日の温度と天気が六年分つてある。こんな記録が二十年分あるという。未来だけでなく過去の天気も藤崎さんにおまかせだ。

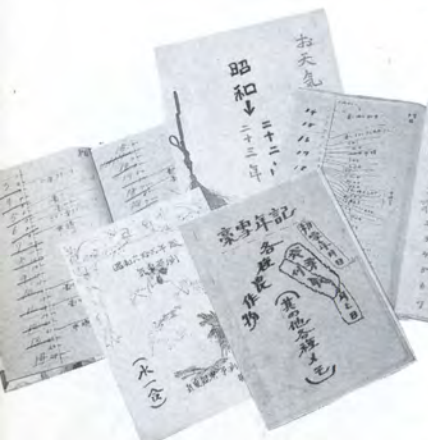
特別付録

秋の行楽シーズン(10月)の天気

藤崎気象観測所発表

全面的にあまりよくないようです。しかし、晩秋は晴れたり曇つたりのみずまずの天候となるでしょう。

(注、これは藤崎さんの住む津沢地区のもの。県内どこでも当てはまるわけではありません。)



09月16日～09月15日

■8月21日
知事のまちなわり・語るつどい
(八尾町・細入村)

■8月22日
北方領土返還要
求富山県大会



■8月25日
第12回立山美化清掃大会

■8月28日
新都市拠点整備事業調査協議会

■8月31日

交通安全キャン
ペーン全国キャ
ラバン隊出発式



■9月1日

農政審議会

■9月3日

総合開発審議会計画推進部会

■9月4日

富山県総合防災訓練



■9月5日

障害者雇用促進
キャンペーン



■9月7日

大学等求人企業説明会

■9月9日

自然環境保全審議会

■9月10日

知事のまちなわり・語るつどい
(福岡町)

■9月11日

富山県国際文化センター竣工式
(オープン・12日)

北欧デザインの今日―生活の中の
形展

(10月23日・県立近代美術館)

■9月13日

住宅産業見本市
(9月15日・テクノホール)



『うるおいのある環境づくり』
作文・論文募集

わたしたちをとりまく生活環境に「ゆとり」と「やすらぎ」をもたらす、「うるおいのある環境」を実現するため、その進め方や希望・理想などについての作文・論文を募集します。

◆テーマ/『うるおいのある環境づくり』
(題名は自由)

◆原稿枚数/四百字詰め原稿用紙十枚以内

◆応募期限/十月三十一日(土)

◆応募先/県庁企画調整室

留学生と語るつどい
参加者募集

県内の高校生と留学生が共同宿泊体験を通して、正しい国際理解と豊かな国際感覚を養います。

◆開催日/十月二十四日(土)・二十五日(日)

◆場所/富山県二上青少年の家

◆募集対象/高校生、留学生、付添教諭

◆応募期限/十月十七日(土)

◆定員(百名)に達し次第締切ります。

申込みその他詳しくは、二上青少年の家

(☎0766・21・0001)へ

第25回発明とくふう展

日常生活や職場での創意くふう品を紹介します。

◆会期/十月十七日(土)・十八日(日)

◆会場/富山市産業奨励館



「太閤山住宅団地の宅地分譲」

ゆとりあるマイホームづくりをお求めの方には最適です。

◆一区画平均面積

三百三十平方メートル

◆分譲価格

四万七千三百円/平方メートル

◆問い合わせ先

太閤山住宅団地建設事務所

(☎0766・56・0221)

「優良宅地取得資金」

県、または住宅供給公社が造成した住宅団地の宅地を購入される方への資金融資です。

◆融資限度額

二百五十万円

◆償還期間

二十年以内

◆融資利率

年四・七パーセント

「富山県特別住宅分譲制度」

富山県住宅供給公社で、雪に強い住宅仕様のものを購入する場合などに適用される制度で、住宅金融公庫の融資額が増されるなどの特典があります。

「地域優良木造住宅の割増融資」

住宅金融公庫及び県の「住みよい家づくり資金」の融資を受け、耐雪型・断熱構造の木造住宅を建設する場合、住宅金融公庫から最高二百万円の割増融資が受けられます。

「住みよい家づくり資金」

雪に強い家づくり、住みよい家づくりのお手伝いをする富山県住みよい家づくり資金の融資条件が改善され有利になりました。

◆融資限度額

新築 三百二十万円

改良・中古改良 二百万円

◆償還期間

新築 二十年以内

改良・中古購入 十年以内

◆融資利率

年四・七パーセント

※住宅金融融資について詳しくは、富山県住宅供給公社(☎0764・32・5131)へお問い合わせください。

昭和62年10月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
7	水	魚津市役所前	10:00~16:00
10	土	砺波ジャスコ前	10:00~15:30
		富山駅前	10:00~16:00
11	日	富山西武前	10:00~16:00
14	水	宇奈月町黒部観光開発前	10:00~15:30
15	木	庄川町役場前	10:00~15:30
		富山駅前	10:00~16:00
17	土	高岡駅前	10:00~15:30
		富山市蜷川地区センター前	10:00~15:30
21	水	役場前	9:30~12:00
		大沢野町図書館前	13:00~15:30
22	木	立山町商工会館前	10:00~15:30
24	土	富山駅前	10:00~16:00
		高岡駅前	10:00~15:30
25	日	高岡駅前	10:00~15:30
29	木	城端町役場前	10:00~15:30
		富山駅前	10:00~16:00
31	土	高岡駅前	10:00~15:30

工場用地等の分譲案内

富山新港臨海工業用地

- ◆所在地 新湊市、高岡市、小杉町
- ◆全体面積 四百二十二ヘクタール
- ◆分譲中面積 八十七ヘクタール
- ◆分譲価格 一万五千円/平方メートル

(流通用地)

A地区 三万八千円/平方メートル
C地区 二万円/平方メートル

富山八尾中核工業団地

- ◆所在地 八尾町保内
- ◆全体面積 八十八ヘクタール
- ◆分譲中面積 四十八ヘクタール
- ◆分譲価格 平均一万五千四百五十円/平方メートル

小杉流通業務団地

- ◆所在地 小杉町青井谷・大門町水戸田
- ◆全体面積 五十二ヘクタール(計画)
- ◆分譲中面積 六ヘクタール
- ◆分譲価格 三万八千円/平方メートル

※詳しくは、県庁商工振興課へ。

と・や・ま・ギ・ネ・ス・ス・ポ・ツ・ト

TOYAMA GUINNESS SPOT 6

高岡銅器

高岡銅器は、加賀藩主前田利長公が高岡入城の翌々年（慶長一六年・一六一一年）産業振興のため、金屋町に鑄物工場を開設されたことに始まるといわれています。

最初は、鑄鉄の鍋釜や農具類を造っていましたが、宝暦年間（一七五一〜六四年）に銅器鑄物の技術を導入し、仏具、香炉などを製造するようになり、彫金、着色などの技術の発達とともに美術工芸品としての価値も認められるようになりました。

現在では、年間総売上額三百三十三億円（昭和六十一年度）全国シェアの九〇パーセントを占めるに至っています。

また最近では、ペン立て、ペーパーウエイトなど斬新なデザインを施した銅器も商品化され人気を呼んでいます。



『富山県農業史』



富山県農業史は、富山県の農業の発展過程を明らかにし、貴重な資料を収集・記録したもので、昭和五十八年に「資料集成（上・下）」そしてこのほど「通史」が刊行されました。

この通史は、富山県農業の形成段階から、現代までの歩みを時代の流れに沿いながら記述したもので、先人たちが「先利後利」の精神で幾多の障害を乗り越えて今日の富山県農業の地歩を築きあげた足跡をたどることができま

- 『富山県農業史資料集成』
A5判/千九百頁 定価 二万円
 - 『富山県農業史通史』
A5判/千頁 定価 一万二千元
- 発売元/丸善(株)
申し込みは県内主要書店で

相談窓口のごあんない

- | 県政については | 消費生活については | 暴力・サラ金などについては |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代 31-3131(県民電話) 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151 | <ul style="list-style-type: none"> 消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
☎(0764)32-9233 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内
☎(0766)25-2777 | <ul style="list-style-type: none"> 困りごと相談所 警察本部防犯少年課
☎(0764)33-8080 覚せい剤・サラ金相談 警察本部生活保安課
☎(0764)41-8904 暴力団ゼロ110番 警察本部捜査第二課
☎(0764)42-0110 <p>このほか各警察署でも受け付けています。</p> |

見てください・聞いてください

N^{EW}-PAPER 新聞広報 TV テレビ広報 R^{AD}IO ラジオ広報

- | | | |
|--|---|---|
| 新聞広報 <ul style="list-style-type: none"> 北日本放送、富山、読売、北陸中日 毎週第2土曜日 「県からのお知らせ」 毎月最終土曜日 「みんなの県政」 朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」 | テレビ広報 <ul style="list-style-type: none"> 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30 「こんにちは富山県です」 富山テレビ放送 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「110万人のひろば -クイズ/フォーカス・イン-」 | ラジオ広報 <ul style="list-style-type: none"> FMとやま “ふれあいホットライン” 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35 |
|--|---|---|

編集後記

★十月は、都市緑化月間。緑豊かな富山“て裏表紙を飾ろうと、候補地探しに富山市内を自転車で駆け回ってきました。

初秋の風のごちよい休日、つい調子に乗って富山大学と常願寺川大日橋の間、いつたりきたりと半日もベダルを踏んでいたものだから翌日は足腰がガタガタ。歩くにも苦勞する始末です。

若さを過信して(?)無茶をするのはやめようと心に誓った一日でした。

★そうしたすつたもんだの末、選んだ場所は、護国神社前の銀杏並木と城南公園。なかでも城南公園は芝生もきれいで立派な公園です。

まだの方は、一度行ってみたいはいかがですか。表紙の北欧デザイン展も公園横の美術館で見られますよ。



ミドリマン
やっつていこう！

緑は気持ちがいい。
スーッとストレスが解消していきまうです。

公園での運動も快適。

酸素がたくさん、体内へ送りこまれます。

花や実をつける木や草が

すばらしい四季の変化を教えてください。

鳥や蝶や虫たちも集まっています。

緑はとても大きな野外教室です。

サンタクロースが

実はおとうさんかもしれないように

緑を育て守る、ドリマンは

あなたかもしれないです。

※富山県都市部の1人当たり都市公園面積は
7.48㎡、全国7位です。



'87都市緑化月間講演会

- 講演 「富山の風土と緑」
講師 布村 弘
(国立富山商船高専教授)
- スライド上映
「都市緑化のかんどころ」
- と き/昭和62年10月19日(月)
午後1時30分～4時30分
- ところ/県民会館401号室

都市に
緑と
公園を

10月は都市緑化月間です。